



かつ もく
刮目

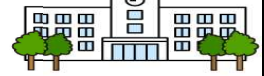
学校教育目標

校訓

刮目 ～刮目の生徒・刮目の教師～

～かけがえのない自己の人生に目を開き、たくましく自己実現していく生徒の育成～

自主・剛健・高雅



東金市立東金中学校 学校だより第7号

令和5年5月17日発行 文責：副校長 久我 和廣

親子のコミュニケーション

- 1 お子さんとの会話を大切に
- ・ 家族団欒の場所や時間がありますか？
 - ・ お子さんの好きな事。好きな食べ物。好きなタレントを知っていますか？
 - ・ お子さんの将来について考え、話し合ったことがありますか？

中学生は思春期の真っ只中、心身が大きくゆれています。心や行動の変化を親としてしっかりつかんでおくことが大切です。日常の親子の会話を大切にしながらコミュニケーションをとってみたいはいかがでしょうか？心から耳を傾けるということは、相手を大切にすることにつながります。いつもお子さんの話をきちんと受け止める気持ちがあれば、会話が成り立ち、よりよい親子関係を築いていくことができるようになります。

- 【態度】今、自分がやっていることをやめ、お子さんの顔をよく見る。最後まで聞く。
- 【言葉】あいづちを打つ。お子さんの言葉を繰り返す。(いやだ→いやだったんだね。)
- 【質問する】それから、どうしたの？

- 2 お子さんの考えを認めていますか？
- ・ 自分の意見や考え、都合を押しつけていませんか？
 - ・ お子さんの言うことを聞いてあげていますか？
 - ・ お子さんの気持ち・考えを受け止めていますか？
 - ・ 結果ではなく、努力の過程を認めてあげていますか？

60点のテストを持ってきた子どもに対し「60点なんて勉強してない証拠よ！」と叱る。「60点だったの。次は70点めざそうね。」と目標を示して、どちらが子どもを伸ばすことにつながっていくでしょうか。

親子のコミュニケーションは、子どもの気持ちを受け止めることからスタートします。努力していること、頑張ったことは家族みんなでほめてあげましょう。時には親として毅然とした態度で、しっかりと叱ることも必要です。人としての生き方をいっしょに考え、子どもといっしょに歩む親でありたいものですね。

3 家庭が家族みんなの拠り所になっていますか？「行ってきます」「ただいま」など、あいさつは家族全員で！

家庭は『ほっとできる心の拠り所』、愛情による絆で結ばれた触れ合いの場

家庭教育は子どもの基本的な生活習慣・生活能力、健康な心身の育成、豊かな情操、思いやりや善悪の判断などの基本的な倫理観や社会的マナーなどの「生きる力」の根本的な資質や能力を育てる出発点です。家庭が家族みんなの心の拠り所として心地良い場であるためにも、個々の家庭でやれることを再点検してみましょう。

まずはあいさつからはじめてみませんか。
(千葉県教育委員会家庭教育支援資料より)

各種相談窓口の御案内

- 24時間子供SOSダイヤル(全国共通)
0120-0-78310
- 千葉県子どもと親のサポートセンター (24時間)
0120-415-446
- 子どもの人権110番(全国共通)
(千葉法務局内:月曜日～金曜日8:30～17:15)
0120-007-110
- ヤングテレホン
(千葉県警察少年センター:月曜日～金曜日9:00～17:00)
0120-783-497
- 千葉いのちの電話(24時間)
043-227-3900
- チャイルドライン千葉
(月曜日～土曜日16:00～21:00)
0120-99-7777
- ライトハウス千葉
(千葉県子ども・若者総合相談センター:火曜日～日曜日10:00～17:00)
043-420-8066
- よりそいホットライン(24時間)
0120-279-338
- 千葉県精神保健福祉センター
※新型コロナウイルス感染症に係る心のケア
043-263-3893